

群馬県で損保代理店を対象に地震保険セミナーを開催

～群馬県の地震リスクとお客様に響く情報提供について学ぶ～

日本損害保険協会関東支部 群馬損保会(会長:本谷 祐介・三井住友海上火災保険株式会社群馬支店長)は、群馬県損害保険代理業協会との共催により、1月23日(金)、群馬県勤労福祉センターにて、代理店向け地震保険セミナーを開催し、損害保険代理店を中心に、約80名が参加しました。

開会に際し、本谷損保会長から、「多くの消費者の方が、政府と損害保険会社が共同で運営する公共性の高い自助の仕組みである『地震保険』の有用性を認識し、地域のリスクマネージャーである代理店の皆様と一体となって普及を進めて参りたい。」との挨拶があり、次いで、来賓の財務省関東財務局 前橋財務事務所の大庭所長より、県内での地震保険の普及への期待に向けた挨拶がありました。

次に、群馬県 総務部 危機管理課の稲田防災対策主監から、「群馬県の大規模地震対策について」と題し、群馬県周辺の活断層や地震発生確率・被害想定、県の危機管理・防災態勢等について講演がありました。

続いて、群馬大学大学院 理工学府の金井昌信教授から、「日常生活に直結した防災対策～防災の当たり前を再考～」と題し、「Unlearn(これまでに身につけた思考のクセを取り除く)」の考え方にに基づき、日頃からの備えについての発想を変える必要性や、防災に「唯一絶対の正解」はなく、自分に適した対応策を自ら考え、「覚悟のレベルを決める」ことの大切さが伝えられました。「どこかで大きな地震が起きた」「群馬県では、現在、地震の被害想定が見直されており近々公表予定である」等、こういった「きっかけ」を代理店がお客様に保険をお勧めする際には、最大限活用してほしいとの示唆がありました。

また、損保協会関東支部から、損保協会HPの「地震保険特設サイト」に掲載されている各種コンテンツを紹介しながら、お客様に地震保険を紹介・説明する際に参考となる各種情報やデータ、ツールを紹介しました。そして最後に、群馬県損害保険代理業協会の中田会長から、地震保険普及の重要性と代理店の使命と役割を強く訴えて、セミナーを閉会しました。

参加者アンケートは大変好評であり、理解度については、「とても理解できた」「理解できた」と回答した割合は100%で、「今後の募集活動に役立つか？」という質問についても、「とても役立つ」「役立つ」と回答した割合は91%でした。フリーアンサーでも「金井先生からのお話を聞いて、大変多くの気付きを得た。」「とても分かりやすく有意義な時間を過ごすことが出来た。今日学んだことを日々の生活や業務に活かしていきたい。」「我々代理店が一番親身に防災を伝えられる立場にあると改めて認識した。」といった感想が複数寄せられました。

当支部では、今後も自治体や関係団体と連携しながら、地震保険の普及促進に向けて鋭意取り組んでまいります。

(参考) 群馬県 2024年度地震保険の付帯率は、68.3% (全国第36位) 全国平均 70.4%



開会挨拶をする本谷損保会長



来賓挨拶をする
前橋財務事務所の大庭所長



群馬県 危機管理課
稲田主監の講演



群馬大学大学院
金井教授の講演



群馬県損害保険代理業協会
中田会長の閉会挨拶



会場の様子

■ 出席者アンケート結果

Q. 本日のプログラムはいかがでしたか？

